



国見キャンパス

アイヌの工芸 — 芹沢銈介と長介の収集 —

～8月1日(土)

休館日 月曜日、5/30、6/14、7/25～26

芹沢銈介美術工芸館は、東北福祉大学付属の美術館として1989年に開館し、芹沢銈介の作品やコレクションを紹介しています。

芹沢銈介(1895-1984)は、型染を用い、創造性の高い文様を創り続けました。その染色技術と作品が評価され、「型絵染」の重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。また、世界各国の工芸品のコレクターとしても知られており、その審美眼によって集められた品々は「もう一つの創造」ともいわれています。

今回の展覧会では、芹沢銈介と、その子息である考古学者・長介が収集した200点を超えるアイヌ資料より、約160点を展示します。アイヌの人々の信仰や生活に密接にかかわる資料を、銈介が「美しく神秘的」と称した民族の伝統・文化が息づく工芸をご堪能ください。

また併設展として、北海道・東北の風物をモチーフにした芹沢銈介作品約80点を紹介します。



色裂置文縞木綿衣

- ▶ 令和8年4月より土・日開館になりました
- ▶ 詳細は公式ホームページをご覧ください
- ▶ 眺望の良い休憩室もご利用ください

Instagram
はじめました

【入館料】 学生証の提示にて無料

【問い合わせ】 TEL022-717-3318



ホームページ



X



Instagram